

主に本楽団の運営に携わる者を団員とすることについて

本楽団の現状に鑑み、運営体制をより強化するため、主に本楽団の運営に携わる者（以下、「MS（マネジメントスタッフ）」という。）を団員とする。

1 MSとは

MSとは、本楽団での活動の主たる目的を楽団運営への参画とする者をいう。ただし、その従たる目的である演奏活動への参加を禁止するものではない。

2 楽団運営の現状とMSの必要性

多くの団員が所属し多彩な活動を展開している本楽団は、その運営が複雑化・高度化しており、法令遵守の観点からも的確な運営判断や事務処理が求められている。また、楽団創立50周年を控え、周年事業に関する業務の増加が見込まれている。このため、MSによる専門的かつ重点的な対応が必要となっている。

3 役員の現状とMSの活用

前述のとおり、楽団運営の複雑化・高度化により役員の負担が増加している。負担軽減のため役員を補佐する者を置くことができるが、演奏活動参加を主目的とする団員の補佐では限界がある。一方、MSは楽団運営参画を主目的としていることから、役員への選任や、役員を補佐する者への任命により、役員の負担を効果的に軽減させるとともに、運営上の諸課題に対し専門的かつ重点的な対応が可能となる。

4 MSと他の団員の違い

基本的な権利及び義務については、MSも他の団員も同様とする。ただし、その取扱いに一定の差異を設けることが合理的であるものについては、違いが生じることがあり得る。（個別の事案ごとに判断する。）

5 MSの楽団活動への参加形態等

（1）楽団運営参画時

MSは、その趣旨に鑑み、基本的に時間と場所にとらわれず楽団運営に参画するものとする。ただし、楽団からの連絡に対しては、常識の範囲内で速やかに応答することが求められるものとする。

（2）演奏活動参加時

MSは、年間公演数の1/2（小数点第1位以下は切り捨て）以内の公演に係る演奏活動に参加できるものとし、そのときの参加形態は他の団員と同様とする。

（3）所属パートの考え方

本楽団の団員は、楽器単位で構成されたパートに属している。このことに鑑み、MSの属するパートの名称を「マネジメント」とし、このパートにおけるパートマネージャーの役割は団長が担うこととする。ただし、MSが演奏活動に参加するときは、一時的に当該MSの演奏楽器パートにも属するものとする。

6 MSの確保

新規にMSを募集するとともに、在籍団員への打診等により人員を確保する。

7 その他

この取組は、2023年1月からの実施とし、関係例規の改正を団員総会に提案する。